

ようこそ立命館大学文学部 地理学専攻へ

デジタル地図を使って学ぼう!
身近な地域の地理情報



【開催日】 **2005年11月19日(土)**

【先生(講師)】 中谷友樹 文学部助教授

【開催場所】 立命館大学衣笠キャンパス有心館
(京都市北区等持院北町56-1)

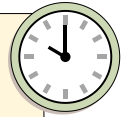
【募集対象】 高校生40名(保護者参加可能)

*参加申込者が40名を超えた場合は抽選とさせていただきます。

昼食 先生方を囲んで昼食会 **無料**です!
参加費 無料
持ち物 ノート(メモ帳)、筆記用具

スケジュール

10:00~10:30 受付、開場
10:35~10:45 挨拶 オリエンテーション
10:45~11:45 実施担当者の講演
11:45~13:15 昼食(先生方と共に)
13:15~16:30 GISを用いた実習と討論
(途中でクッキータイムをはさむ)
16:30~17:00 プレゼンテーション、修了式



● 講義内容



地図は、私たちにとって身近な地域を知る強力な手段です。最近ではコンピューターを用いて、様々なデータを地図の上に表現したデータマップが、よく用いられるようになりました。こうしたデータマップを用いると、少子高齢化の度合い、郵便局やコンビニの利用しやすさ、犯罪や災害の危険性など、地域を様々な角度から知ることができるようになります。さらに、データマップを通して、私たちが暮らす地域をよりよいものとする手がかりを、得ることができます。

最近では、データマップを作るために必要な情報(これを地理情報と言います)が、様々な国・地方の機関で作成され、公開されるようになってきました。今回のワークショップでは、様々なデータを地図と組み合わせて分析できるコンピュータシステム-GIS(地理情報システム)-を用いて、身近な地域を調べる学習を行いたいと思います。

最新の技術を体験しながら、あなたも自分の身近な地域について調べてみませんか?

http://www.jsps.go.jp/hirameki/ht124_ritumeikan.html

申込方法 申込用紙を上記URLからダウンロードして、FAXまたはメール送信してください。

申込締切 **2005年11月8日(火)**

申込・問い合わせ先 **立命館大学衣笠研究支援センター**(担当:高儀) 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL. 075-465-8341 FAX. 075-465-8371 MAIL. t-takagi@st.ritsumeai.ac.jp

本企画は、独立行政法人日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス ~ようこそ大学の研究室へ~ KAKENHI」事業の採択を受けて、以下の科学研究費補助金の研究成果を中学生・高校生の皆さんにわかりやすく公開するものです。

- WebGISを用いた官庁統計データベースの構築に関する研究(2003~2005年度採択)
研究代表者: 文学部 矢野桂司教授
- GeoComputationによる施設配置計画の支援システムの構築(2001~2003年度採択)
研究代表者: 文学部 矢野桂司教授
- 日本におけるHIV/AIDSの空間的拡散モデリング(2003~2004年度採択)
研究代表者: 文学部 中谷友樹助教授
- 疾病流行監視・予測のためのノンパラメトリック時空間分析手法の開発(2005~2007年度採択)
研究代表者: 文学部 中谷友樹助教授





ひらめき☆ときめき サイエンス ようこそ立命館大学「地理学専攻」へ



地理学専攻とは？

Geography Major

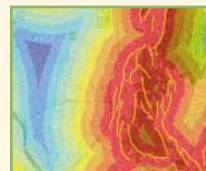
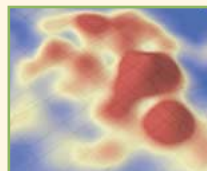
地表上のあらゆる人間の営みが学習の対象。「地域」から発想する地理学の学び。

地理学は、地形や気候などの自然現象から、経済や文化といった人間の営みまで、地表上のあらゆる現象を空間的に捉えて分析する学問です。1935年の設立という長い歴史を誇る本専攻では、自然環境、歴史、産業、都市、文化といった領域で多様な現象を多角的に調査・分析する学びを進めており、社会との関わりについても先進的な研究に取り組んでいます。



教員スタッフには国内外のフィールド調査の経験豊かな14名を揃え、世界の地域社会を詳しく学ぶことも可能です。さらにデータの分析に必要な情報処理教育に力を注いでおり、

コンピュータで地理情報を解析するGIS(地理情報システム)の教育・研究環境は日本でも最高水準を誇ります。こうした環境を通じて研究者や地域プランナーをはじめ、地理学のマインドを社会で活かせる人物の育成をめざします。



「GIS実習」という授業では… カーナビやインターネット地図、また公共インフラなどにおける利用が急成長しているGIS(地理情報システム)の理論と技術、国際標準のGISソフトウェアであるArcGIS(ESRI社)を用いて実習します。



体験してみよう 地理情報システムでは こんなことができる！

身近な地域を理解する

- どんどこで犯罪が起きているのだろう(犯罪分布の表示)
- 近くにはどこに活断層が走っているのだろう(地震多発地帯の割り出し)
- 文化財が集まっているのはどこだろう(防災対策が必要な場所)

複数の地理情報を重ねて、身近な地域を評価する

- 一人暮らしするとしたらどこに住む？(家賃の分布とお店の分布の関係)
 - コンビニ経営者だったらどこに出店する？(若者の多く住む場所とコンビニのない場所の関係)
- 災害弱者を災害から救うにはどういった対策をする？(高齢者の多く住む場所と避難場所の関係)



この研究をまとめた先生

矢野 桂司 文学部教授

YANO Keiji

我々の意図は、地図を用いた分析とは、どのようなものを体験してもらうことにあります。最近ではデータマップという言葉がNHKで使われるようになりましたが、特定のテーマに基づいたデータをまとめて地図に表現することが、今日では大きな関心を集めています。たとえば、少子高齢化の度合いの地域差や、犯罪・災害リスクの広がりといったものです。

普段、身近な世界にありながら、その在り様を理解していなかったものを、よりよく理解できるようになります。

地図のデジタル化、あるいはGIS(地理情報システム)の登場はなにもデータマップを手早く描けるようにしたばかりではありません。デジタル化された地図を重ね合わせる操作を用いて、さまざまな分析・評価・計画支援が可能です。

今回のワークショップでは、生活者・経営者・都市計画者(あるいは市長)のような視点から、さまざまな地理情報(デジタル化された地図といってもよいでしょう)を組み合わせ、京都という生活世界を評価し、読み解いてもらおうと考えています。その具体例が、生活環境評価(どこに住みたいか)、経営環境評価(どこに出店すべきか)、災害リスク評価(どこに注意を払うべきか)といった題材です。

PRESENT

特典その1 参加申込をした方、先着100名に「Ritsボールペン」をプレゼント！

特典その2 さらに、当日参加者全員に下記のRitsグッズからお好きなものを1つプレゼント！申込書の欄外(どこでも結構です)にご希望のグッズ名をお書きください。



A 立命館スクールバス チョロQ



B 立命館アマリカンフットボール部 パンサーズマスコットヘルメット



C 立命館アマリカンフットボール部 パンサーズ携帯ストラップ



D 立命館アマリカンフットボール部 パンサーズネックストラップ



E 立命館アマリカンフットボール部 パンサーズピンバッジ



[交通案内]

JR・近鉄京都駅より 市バス50
JR・地下鉄二条駅より 市バス15・55
地下鉄北大路駅より 市バス204・205
京阪電車三條駅より 市バス15・59
阪急電車烏丸駅より 市バス51・55
阪急電車西院駅より 市バス205
JR円町駅より 市バス15・204・205
市バス=15・50・51・55・59にて
「立命館大学前」下車 / 徒歩5分
市バス=204・205にて
「わら天神前」下車 / 徒歩10分
*お車でのご来場はご遠慮下さい。

RITS 立命館大学衣笠研究支援センター
(担当:高橋)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL. 075-465-8341 FAX. 075-465-8371
MAIL. t-takagi@st.ritsumei.ac.jp